

※両面で印刷してください。

平成30年度
事業報告書

社会福祉法人 小城市社会福祉協議会

目 次

経理区分	事 業 名	ページ
法人運営事業	1 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催	1
	2 社協会費	2
	3 一般寄付金・香典返し寄付金の受付	3
	4 社協広報誌「社協だより(絆)」の発行	4
	5 日本赤十字社事務の協力	5
	6 赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金	6
地域福祉活動事業	7 民生委員児童委員連絡協議会への支援	7～8
	8 温泉バス旅行(ふれあいバスハイク)	9
	9 児童遊園地施設整備(新設・補修・撤去)助成	10
	10 新生児祝い品贈呈事業	11
	11 地域ふれあいサロン事業	12～13
	12 出前講座	14～15
	13 弁護士無料法律相談の開設	16
	14 第9回小城市福祉大会	17～18
	15 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)	19
	16 ボランティアセンター事業	20～22
	17 ボランティアスクール	23
	18 学校ボランティア育成事業	24～25
福祉資金貸付事業	19 生活福祉資金貸付事業	26
	20 福祉資金貸付事業	27
小城市受託事業	21 軽度生活支援事業及び地域生活応援業務	28
	22 生きがい活動支援通所事業(南部生きがいデイサービス)	29
	23 障害者移送サービス事業	30～31
	24 愛の一声運動推進事業	32
	25 高齢者ふれあいサロン事業	33～34
	26 子育て相互支援事業	35
	27 地域子育て支援拠点事業	36
	28 小城保健福祉センター「桜楽館」の管理・経営	37
	29 芦刈保健福祉センター「ひまわり」の管理・経営	38
	30 高齢者生きがいづくり講座事業	39
	31 小城・多久障害者相談支援事業	40～41
	32 生活困窮者自立相談支援事業(生活自立支援センター)	42
中部広域連合受託事業	33 南部地域包括支援センター事業(おたっしゅ本舗小城南)	43～46
介護保険事業	34 居宅介護支援事業	47

法人運営事業

(1P~6P)

平成30年度 事業報告

事業名	理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催		
期 日	年間 理事会3回、評議員会1回、評議員選任・解任委員会1回		
場 所	小城保健福祉センター「桜楽館」研修室		
参加者	理事、監事、評議員、 評議員選任・解任委員	担当者	事務局長、課長、係長、総務係
目 的	事業計画や予算等、本会の重要な方針を決定する。		
実施内容	<p>理事会</p> <p>平成30年5月31日(木) (理事10人、監事2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時評議員会の招集 ・評議員候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員の補欠選任 ・評議員選任・解任委員会の招集 ・平成29年度事業報告及び一般会計決算報告 <p>平成30年12月12日(水)(理事8人、監事1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度指導監査結果報告及び改善状況報告 ・平成30年度一般会計第1次補正予算 <p>平成31年3月28日(木)(理事10人、監事2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長職務執行状況報告 ・経理規程の一部改正 ・給与規程の一部改正 ・平成30年度一般会計第2次補正予算 ・平成31年度事業計画(案)及び一般会計予算(案) <p>定時評議員会</p> <p>平成30年6月14日(木) (評議員 20人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事の補欠選任 ・平成29年度事業報告及び一般会計決算報告 <p>評議員選任・解任委員会</p> <p>平成30年6月22日(金) (委員5人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員の補欠選任 		
特記事項 課題等	今後、働き方改革関連法案の施行に合わせて、就業規則や給与規程等の見直しを図っていく。		

平成30年度 事業報告

事業名	社協会費																							
期 日	普通会費(5月～)、団体・賛助会費(通年)																							
依 頼 先	小城市内全区長																							
対 象	市内全世帯	担当者	総務係、各支所担当																					
実施内容	<p>1. 目 的 本会の事業推進に貴重な財源を「社協会員」である地域の皆様に納入していただき、社会福祉事業に参加していただく。</p> <p>2. 内 容 ・市内181行政区の区長へ依頼 ・一世帯あたり400円の戸別会費のお願いをする。 ・社協会費は、児童福祉・高齢福祉・ボランティア活動支援・地域福祉サービス等に活用する。</p> <p>3. 平成30年度 実績 【普通会員会費】 一世帯400円</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">世帯数</th> <th style="width: 35%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小城町</td> <td>4,282世帯</td> <td>1,712,800円</td> </tr> <tr> <td>三日月町</td> <td>3,720世帯</td> <td>1,488,000円</td> </tr> <tr> <td>牛津町</td> <td>2,958世帯</td> <td>1,183,200円</td> </tr> <tr> <td>芦刈町</td> <td>1,539世帯</td> <td>615,600円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度合計</td> <td>12,499世帯</td> <td>4,999,600円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <tbody> <tr> <td>平成29年度合計</td> <td>12,582世帯</td> <td>5,032,800円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【賛助会費】一口1,000円(企業・団体へ依頼) 平成30年度 202,000円(35件) 平成29年度 216,000円(39件)</p> <p>【団体会費】一口1,000円(市内の福祉団体へ依頼) 平成30年度 70,000円(14団体) 平成29年度 77,000円(15団体)</p>				世帯数	金 額	小城町	4,282世帯	1,712,800円	三日月町	3,720世帯	1,488,000円	牛津町	2,958世帯	1,183,200円	芦刈町	1,539世帯	615,600円	平成30年度合計	12,499世帯	4,999,600円	平成29年度合計	12,582世帯	5,032,800円
	世帯数	金 額																						
小城町	4,282世帯	1,712,800円																						
三日月町	3,720世帯	1,488,000円																						
牛津町	2,958世帯	1,183,200円																						
芦刈町	1,539世帯	615,600円																						
平成30年度合計	12,499世帯	4,999,600円																						
平成29年度合計	12,582世帯	5,032,800円																						
特記事項 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月18日(水)に行われた区長全体会議において、納入依頼をした。 ・ 会費用途を社協だよりやホームページで報告し、市民の皆様には地域福祉活動への理解と協力を求めていく。 																							

平成30年度 事業報告

事業名	一般寄付金・香典返し寄付金の受付																				
期 日	通年																				
対 象	市内全域	担当者	総務係、各支所担当																		
実施内容	<p>1. 目的 本会の福祉事業を推進する上で貴重な財源となっているので、本所・各支所で受付を行っている。</p> <p>2. 内容 香典返し寄付金及び一般寄付金の受付</p> <p>3. 実績 【香典返し寄付金】</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>233件</td> <td>5,519,000円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>257件</td> <td>4,727,000円</td> </tr> <tr> <td>対前年比較</td> <td>24件の減</td> <td>792,000円の増額</td> </tr> </table> <p>【一般寄付金】</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>10件</td> <td>226,706円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>8件</td> <td>333,664円</td> </tr> <tr> <td>対前年比較</td> <td>2件の増</td> <td>106,958円の減額</td> </tr> </table> <p>【香典返し寄付金へ弔慰品】 2,000円相当の線香セット 平成30年度 延223個 平成29年度 延257個</p>			平成30年度	233件	5,519,000円	平成29年度	257件	4,727,000円	対前年比較	24件の減	792,000円の増額	平成30年度	10件	226,706円	平成29年度	8件	333,664円	対前年比較	2件の増	106,958円の減額
平成30年度	233件	5,519,000円																			
平成29年度	257件	4,727,000円																			
対前年比較	24件の減	792,000円の増額																			
平成30年度	10件	226,706円																			
平成29年度	8件	333,664円																			
対前年比較	2件の増	106,958円の減額																			
特記事項 課題等	<p>香典返しの寄付件数・寄付額ともに減少しているため、会葬礼状のはがきを平成31年1月から廃止し、少額の寄付に対しては、弔慰品の見直しを行った。 今後も地域福祉活動を行う上で貴重な財源なので、協力をお願いしていく。</p>																				

平成30年度 事業報告

事業名	社協広報誌「社協だより(絆)」の発行										
発行	年6回(奇数月)										
依頼先	市内全区長										
配布先	市内全戸、広告掲載事業所	担当者	広報委員、総務係								
地域福祉活動計画	基本目標 住民主体の地域づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発及び福祉教育の推進										
実施内容	<p>1. 目的 広報誌で市民・諸団体・地域の取組み事例などを紹介し、市民へ地域福祉活動の理解を深めてもらう。</p> <p>2. 内容 ・年6回(奇数月)発行。区長文書発送にて、市内全戸へ配布。 ・社協事業、取組み事例、ボランティア情報、イベント情報等を掲載。 ・赤い羽根共同募金PRのため、印刷代の一部を配分金で行った。</p> <p>3. 発行日(年6回) 5月18日・7月20日・9月20日・11月5日・1月18日 3月20日</p> <p>4. 発行部数</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">5月号</td> <td style="text-align: right;">15,700部</td> </tr> <tr> <td>7月号</td> <td style="text-align: right;">15,800部</td> </tr> <tr> <td>9・11月号</td> <td style="text-align: right;">各15,900部</td> </tr> <tr> <td>1・3月号</td> <td style="text-align: right;">各16,000部</td> </tr> </table> <p>5. 広告費収入 55,000円×年6回=330,000円 市内の福祉施設・医療機関の広告を掲載。</p>			5月号	15,700部	7月号	15,800部	9・11月号	各15,900部	1・3月号	各16,000部
5月号	15,700部										
7月号	15,800部										
9・11月号	各15,900部										
1・3月号	各16,000部										
特記事項(課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにも社協だよりを掲載し福祉情報を発信している。 ・イベントや活動状況報告を掲載し、市民の皆様へ福祉情報の提供を行い、社協活動の啓発を行っていく。 										

平成30年度 事業報告

事業名	日本赤十字社事務の協力											
期 間	会費募集期間 5月～6月											
依 頼 先	小城市内全区長											
対 象 者	市内全世帯	担当者	総務係、各支所担当									
地域福祉活動計画	基本目標 住民主体の地域づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発及び福祉教育の推進											
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>日本赤十字社は、国の内外において災害や紛争などによる被災者や難民を救援するため、医療救護班の派遣や資金・物資の提供など人道的事業の活動を行っている。これらの事業を実施するために日赤会費納入の協力を行う。</p> <p>2. 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内181の行政区の区長へ依頼。 ・一世帯あたり600円の日赤会費のお願いをする。 <p>3. 日赤会費実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>7,202,200円</td> <td>12,003世帯</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>7,340,400円</td> <td>12,234世帯</td> </tr> <tr> <td>比 較</td> <td>138,200円の減</td> <td>231世帯の減</td> </tr> </table> <p>4. 災害・火災見舞金品の贈呈 (火災2件 2棟全焼)</p> <p>救急セット 3組 毛 布 10枚 バスタオル 10枚</p> <p>日赤県支部より火災見舞 全焼10,000円×2件=20,000円 日赤奉仕団より火災見舞 全焼 5,000円×2件=10,000円</p> <p>日本赤十字イベント「小城・多久地区防災セミナー」 習ってよかった！災害時に活かせる防災講習会 5月26日(土)小城保健福祉センター桜楽館で開催 小城市より75人参加</p>			平成30年度	7,202,200円	12,003世帯	平成29年度	7,340,400円	12,234世帯	比 較	138,200円の減	231世帯の減
平成30年度	7,202,200円	12,003世帯										
平成29年度	7,340,400円	12,234世帯										
比 較	138,200円の減	231世帯の減										
記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害義援金受付窓口を設置中 ・日赤奉仕団の小城市地域婦人会による災害時に出来る支援研修会への協力を行った。 											

平成30年度 事業報告

事業名	赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金																																															
期 間	募金運動 10月～12月	配分事業: 通年																																														
依 頼 先	戸別募金 小城市内全区長	法人・学校・職域・資材 市内全域																																														
対 象 者	市内全世帯	担当者	各支所、総務係、ボランティア担当																																													
地域福祉活動計画	基本目標 住民主体の地域づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発福祉教育の推進																																															
実施内容	<p>1. 実施内容</p> <p>戸別募金 市内181の行政区の区長へ依頼。 一世帯あたり、赤い羽根共同募金 350円、 地域歳末たすけあい募金 100円をお願いする。</p> <p>法人募金 民生児童委員・募金ボランティアの協力で、市内各企業・商店に依頼募金をお願いする。</p> <p>2. 募金実績</p> <p style="text-align: center;">【赤い羽根共同募金】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">平成30年度</th> <th style="text-align: center;">平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td> <td style="text-align: right;">4,350,250 円</td> <td style="text-align: right;">4,405,100 円</td> </tr> <tr> <td>法人募金</td> <td style="text-align: right;">1,550,132 円</td> <td style="text-align: right;">1,643,415 円</td> </tr> <tr> <td>資材・職域募金</td> <td style="text-align: right;">833,840 円</td> <td style="text-align: right;">804,894 円</td> </tr> <tr> <td>学校募金</td> <td style="text-align: right;">153,120 円</td> <td style="text-align: right;">149,996 円</td> </tr> <tr> <td>個人募金・利息他</td> <td style="text-align: right;">47,458 円</td> <td style="text-align: right;">60,537 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">6,934,800 円</td> <td style="text-align: right;">7,063,942 円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">前年度より 129,142 円の減額</p> <p style="text-align: center;">【地域歳末たすけあい募金】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">平成30年度</th> <th style="text-align: center;">平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td> <td style="text-align: right;">1,246,500 円</td> <td style="text-align: right;">1,258,700 円</td> </tr> <tr> <td>個人・団体</td> <td style="text-align: right;">33,827 円</td> <td style="text-align: right;">30,000 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">1,280,327 円</td> <td style="text-align: right;">1,288,700 円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">前年度より 8,373 円の減額</p> <p style="text-align: center;">【地域歳末たすけあい募金 配分報告】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>一人暮らし高齢者 温泉バス旅行</td> <td style="text-align: right;">422,254 円</td> </tr> <tr> <td>知的障がい児(者)交流会へ助成</td> <td style="text-align: right;">100,000 円</td> </tr> <tr> <td>市内全幼稚園・保育園へ積み木の贈呈</td> <td style="text-align: right;">362,880 円</td> </tr> <tr> <td>子育てサロン(絵本・玩具・DVD・チャイルドシート)</td> <td style="text-align: right;">252,120 円</td> </tr> <tr> <td>ふれあいサロン助成金(15か所)</td> <td style="text-align: right;">143,732 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">1,280,986 円</td> </tr> </tbody> </table>				平成30年度	平成29年度	戸別募金	4,350,250 円	4,405,100 円	法人募金	1,550,132 円	1,643,415 円	資材・職域募金	833,840 円	804,894 円	学校募金	153,120 円	149,996 円	個人募金・利息他	47,458 円	60,537 円	合 計	6,934,800 円	7,063,942 円		平成30年度	平成29年度	戸別募金	1,246,500 円	1,258,700 円	個人・団体	33,827 円	30,000 円	合 計	1,280,327 円	1,288,700 円	一人暮らし高齢者 温泉バス旅行	422,254 円	知的障がい児(者)交流会へ助成	100,000 円	市内全幼稚園・保育園へ積み木の贈呈	362,880 円	子育てサロン(絵本・玩具・DVD・チャイルドシート)	252,120 円	ふれあいサロン助成金(15か所)	143,732 円	合 計	1,280,986 円
	平成30年度	平成29年度																																														
戸別募金	4,350,250 円	4,405,100 円																																														
法人募金	1,550,132 円	1,643,415 円																																														
資材・職域募金	833,840 円	804,894 円																																														
学校募金	153,120 円	149,996 円																																														
個人募金・利息他	47,458 円	60,537 円																																														
合 計	6,934,800 円	7,063,942 円																																														
	平成30年度	平成29年度																																														
戸別募金	1,246,500 円	1,258,700 円																																														
個人・団体	33,827 円	30,000 円																																														
合 計	1,280,327 円	1,288,700 円																																														
一人暮らし高齢者 温泉バス旅行	422,254 円																																															
知的障がい児(者)交流会へ助成	100,000 円																																															
市内全幼稚園・保育園へ積み木の贈呈	362,880 円																																															
子育てサロン(絵本・玩具・DVD・チャイルドシート)	252,120 円																																															
ふれあいサロン助成金(15か所)	143,732 円																																															
合 計	1,280,986 円																																															
特記事項 (課題等)	・赤い羽根共同募金は、区長会、民生委員児童委員協議会、ボランティア協議会、各種団体などのご協力をいただいています。これからも、共同募金運動の必要性について、ご理解をいただけるよう周知していきます。																																															

地域福祉活動事業

(7 P ~ 25 P)

平成30年度 事業報告

事業名	民生委員児童委員連絡協議会への支援
期 日	通年
担当者	地域福祉推進係 井上、各支所民協担当
地域福祉活動計画	基本目標 住民主体の地域づくり 基本施策 民生委員・児童委員の活動支援
実施内容	<p>1. 目的 民生委員・児童委員91人（民生委員・児童委員83人、主任児童委員8人）相互の親睦を図り、民生委員信条に則り、地域福祉の健全な発展・向上に寄与する。</p> <p>2. 内容 ①民生委員・児童委員の資質向上を図るための研修会等の実施 ②地域福祉に関係ある行政機関及び諸団体との連絡、提携及び協力 ③民生委員・児童委員相互の親睦、連携を図るための事業 ④一斉改選に伴う新任民生委員・児童委員、主任児童委員へ社協との関わりの説明やフォローアップ等 ⑤その他、目的達成のために必要な事業</p> <p>3. 活動内容 (1) 総会の開催 日時 4月20日（金） 14時～ 場所 小城保健福祉センター「桜楽館」 多目的ホール</p> <p>(2) 役員会 第1回 6月8日（金） 小城保健福祉センター「桜楽館」 研修室 第2回 8月8日（水） " 研修室 第3回 10月12日（金） " 研修室 第4回 12月14日（金） " 研修室 第5回 2月1日（金） " 研修室</p> <p>(3) 研修会等 ①全体研修会（総会終了後） 日時 4月20日（金） 15時～ 場所 小城保健福祉センター「桜楽館」 多目的ホール 講演 演 題 「成年後見制度について」 司法書士みやざき事務所 宮崎 雄一郎 氏</p> <p>②心豊かな子どもを育てる運動合同研修会 日時 9月6日（木） 10時～11時30分 場所 小城保健福祉センター「桜楽館」 多目的ホール 講演 演 題 「発達障がいについて」 講 師 NPO 法人 それいゆ 江口 寧子 氏</p>

	<p>③全国主任児童委員研修会（西日本） 日時 8月9日（木）～10日（金） 場所 びわ湖大津プリンスホテル（滋賀県大津市）</p> <p>④第87回 全国民生委員大会 日時 9月27日（木）～28日（金） 場所 沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市）</p> <p>⑤中堅民生委員児童委員研修会 日時 10月1日（月） 10時30分～15時 場所 佐賀市文化会館 中ホール</p> <p>⑥その他、他団体で開催される会議、行事、研修会などに参加</p> <p>4. 各町単位民生委員児童委員協議会の運営 役員会、定例会、研修会などの実施</p>
<p>特記事項 （当日の様子や 反省・課題）</p>	<p>平成30年度は小城市民生委員児童委員連絡協議会の事業および各町単位民生委員児童委員協議会の運営支援を行った。</p> <p>総会後の研修会では民生委員としての活動の中で相談を受けることも多い成年後見制度について司法書士の宮崎氏より講演を行っていただいた。</p> <p>心豊かな子どもを育てる運動合同研修会では、小城市でも発達障害者専門相談窓口を開設されているNPO法人それいゆより江口氏に講演いただき「発達障がい」の特性や対応などについて学ぶことができた。</p> <p>今後も各町の民児協事務局業務を通じて、より一層の民生委員・児童委員や主任児童委員活動を支援し、連携を取りながら地域福祉の推進に努めてく。</p>

平成30年度 事業報告

事業名	小城市温泉バス旅行(ふれあいバスハイク)																														
期 日	11月28日(水)、12月5日(水)																														
開催場所	伊万里温泉「白磁乃湯」																														
担当者	地域福祉推進係 原、各支所民児協担当																														
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 地域における見守り・支えあい体制と外出支援の拡充																														
実施内容	<p>1. 目的 日ごろ外出機会が少ないひとり暮らし高齢者の方々を、温泉施設へ招待し、アトラクションやカラオケ、温泉入浴等で一日を楽しく過ごしていただく。</p> <p>2. 対象者 70歳以上のひとり暮らしの方 (昭和23年10月31日以前に生まれた方)</p> <p>3. 参加費 1,000円</p> <p>4. 主催 小城市社会福祉協議会</p> <p>5. 協力 小城市民生委員児童委員連絡協議会</p> <p>6. 予算 地域歳末たすけあい募金配分金</p>																														
特記事項 (反省・課題)	<p>(参加人数) 三日月・牛津町(11月28日) 小城・芦刈町(12月5日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">三日月町</th> <th style="width: 15%;">牛津町</th> <th style="width: 15%;">小城町</th> <th style="width: 15%;">芦刈町</th> <th style="width: 10%;">計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者</td> <td>35人</td> <td>45人</td> <td>82人</td> <td>13人</td> <td>175人</td> </tr> <tr> <td>民生委員</td> <td>16人</td> <td>16人</td> <td>22人</td> <td>4人</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>51人</td> <td>61人</td> <td>104人</td> <td>17人</td> <td>233人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">平成29年度</td> <td style="width: 15%;">53人</td> <td style="width: 15%;">51人</td> <td style="width: 15%;">103人</td> <td style="width: 15%;">31人</td> <td style="width: 10%;">238人</td> </tr> </tbody> </table> <p>参加された方はカラオケや民生委員・児童委員の皆様による踊りや温泉入浴などで大変楽しく過ごされていた。</p> <p>民生委員・児童委員の皆様より対象者へのチラシ配布や出欠の確認、当日のお世話などご協力をいただき、ケガもなく無事終了することが出来た。</p> <p>毎年参加者も多いため利用出来る施設が少ないことや送迎などの理由で行き先が限定される。参加者も楽しみにされている事業であるのでこれからも継続していきたい。</p>		三日月町	牛津町	小城町	芦刈町	計	参加者	35人	45人	82人	13人	175人	民生委員	16人	16人	22人	4人	58人	計	51人	61人	104人	17人	233人	平成29年度	53人	51人	103人	31人	238人
	三日月町	牛津町	小城町	芦刈町	計																										
参加者	35人	45人	82人	13人	175人																										
民生委員	16人	16人	22人	4人	58人																										
計	51人	61人	104人	17人	233人																										
平成29年度	53人	51人	103人	31人	238人																										

平成30年度 事業報告

事業名	児童遊園地施設整備(新設・補修・撤去)助成												
期 日	通年												
場 所	小城市内全域												
担 当 者	地域福祉推進係 原												
地域福祉活動計画	基本目標 住民主体の地域づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発及び福祉教育の推進												
実施内容	<p>1.目的 小城市内の区が管理する児童遊園地遊具の新設、補修及び撤去事業に対し、その経費の一部を助成することで児童の健全育成に寄与することを目的とする。</p> <p>2.助成基準 新設する場合は、総事業費の80%で38万円を限度とする。 補修する場合は、総事業費の50%で 8万円を限度とする。 撤去する場合は、総事業費の50%で 3万円を限度とする。</p> <p>3.実績(新設 0件、補修 2件、撤去 0件)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">補修</td> <td style="width: 45%;">小城市大江区 児童遊園地</td> <td style="width: 15%;">助成額</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">80,000円</td> </tr> <tr> <td>補修</td> <td>小城市馬場区 児童遊園地</td> <td>助成額</td> <td style="text-align: right;">79,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">159,000円</td> </tr> </table>	補修	小城市大江区 児童遊園地	助成額	80,000円	補修	小城市馬場区 児童遊園地	助成額	79,000円			計	159,000円
補修	小城市大江区 児童遊園地	助成額	80,000円										
補修	小城市馬場区 児童遊園地	助成額	79,000円										
		計	159,000円										
特記事項	平成30度は、鉄棒やすべり台等の補修に対し助成を行った。 今後も事業の周知、推進に努める。												

平成30年度 事業報告

事業名	新生児祝い品贈呈事業
期 日	通年
配布場所	小城市役所 西館 市民課窓口
担当者	地域福祉推進係 井上
地域福祉 活動計画	基本目標 住民主体の地域づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発及び福祉教育の推進
実施内容	<p>1. 目 的 新生児の健全な育成と親子の絆づくりを目的とする。</p> <p>2. 内 容 出生届の提出の際に、読んで聞かせたい絵本を贈呈する。</p> <p>3. 対象者 新生児を持つ家庭</p> <p>4. 主 催 小城市社会福祉協議会</p> <p>5. 配布数 390冊(平成29年度 345冊)</p>
特記事項 (反省・課題)	<p>親が絵本を読んであげることで、子どもの健全な発達を助長し、親子間でよりよいコミュニケーションが取れる。</p> <p>2人目、3人目の誕生時にも対応できるように7種類の絵本を取り揃え、好きな絵本を選ぶことが出来るようにしている。</p> <p>絵本贈呈時には小城市ファミリーサポートセンターのカードや市内の子育て広場の情報をまとめてお渡ししている。</p>

平成30年度 事業報告

事業名	地域ふれあいサロン事業(各地区公民館で自主運営)		
期 日	通年		
開催場所	小城市内各地区 公民館		
対象者	各地区(自治会高齢者)、老人会等	担当	ふれあいサロン係 増田・野田・古館・田中
地域福祉 活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 暮らしやすい生活環境の整備と既存施設の有効活用		
実施内容	1 目的	各地区で、高齢者の通いの場(ふれあいサロン)をつくることで、住民同士のつながりと助け合い活動の普及を行う。	
	2 内容	各地区の公民館に出向き、健康・福祉の情報提供や住民同士の助け合い活動の必要性について認識してもらえるよう説明を行う。 テーマ ・地域の交流について ・介護予防・認知症予防の体操・運動について	
活動概要	<p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館へ出向き、介護予防・認知症予防や福祉・健康についての情報提供、レクリエーション活動、いきいき百歳体操の紹介などを行う。 ・参加者から気がかり情報を聴いたり、関係機関と連携して支援を行う。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・認知症予防について、様々な専門的な情報を聞いたり効果的な体操をしたりと早期に取り組むことの必要性がだんだん理解されてきた。 ・地区での住民同士の交流の場・通いの場づくりに対して取り組む意識が向上してきた。 ・ふれあいサロンへの参加が、介護予防・認知症予防・閉じこもり防止につながっていることが少しずつ認識されてきた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいサロンの必要性は理解されても、自主的に運営を行っていく世話役(リーダー的存在)となる人が少なく、参加者の高齢化もあり、どのようにして地区で主体的に取り組むことができるか検討していきたい。 		

地域ふれあいサロン実績報告(各地区公民館で自主運営)

	実施回数	参加延べ人数	実施地区数及び参加延べ人数			
			【小城】 20地区 (2,584人)	【三日月】 10地区 (1,019人)	【牛津】 7地区 (1,726人)	【芦刈】 6地区 (580人)
平成 30年度	600回	5,909人	【小城】 20地区 (2,584人)	【三日月】 10地区 (1,019人)	【牛津】 7地区 (1,726人)	【芦刈】 6地区 (580人)
平成 29年度	558回	5,492人	【小城】 17地区 (2,306人)	【三日月】 10地区 (881人)	【牛津】 7地区 (1,675人)	【芦刈】 6地区 (630人)
* 自主運営される地区が 40 地区から 43 地区へと 3 地区増加。						

保健福祉センター ふれあいサロン (自主運営)

	実施回数	参加延べ人数	各センター参加延べ人数			
			【桜楽館】 月・水・金 (1,554人)	【ゆめりあ】 開催なし	【アイル】 毎週水曜日 (291人)	【ひまわり】 毎週水曜日 (218人)
平成 30年度	238回	2,063人	【桜楽館】 月・水・金 (1,554人)	【ゆめりあ】 開催なし	【アイル】 毎週水曜日 (291人)	【ひまわり】 毎週水曜日 (218人)
平成 29年度	238回	2,375人	【桜楽館】 月・水・金 (1,821人)	【ゆめりあ】 毎週木曜日 (14人)	【アイル】 毎週水曜日 (283人)	【ひまわり】 毎週水曜日 (257人)

平成30年度 事業報告

事業名	出前講座（住民相互の助け合い）
-----	-----------------

出前講座件数一覧

	町	地区	日にち	内容	参加人数
1	小城	一本松 (サロン)	4月12日	自主でのふれあいサロンの説明	9
2	三日月	緑 (サロン)	5月2日	自主でのふれあいサロンの説明	4
3	小城	弥生町 (サロン)	6月14日	レクリエーション紹介	7
4	芦刈	小路 (サロン)	6月19日	レクリエーション紹介	11
5	三日月	西分	7月10日	ふれあいサロンの紹介	8
6	三日月	深川 (サロン)	7月10日	百歳体操の紹介	3
7	小城	小城中村 (サロン)	7月19日	レクリエーション紹介	10
8	小城	坂井 (サロン)	7月19日	百歳体操の紹介	6
9	三日月	樋口 (サロン)	7月20日	健康体操	10
10	小城	小城中村 (サロン)	8月23日	見守りキーホルダーの紹介 レクリエーション紹介	11
11	小城	円光寺	9月6日	ふれあいサロンの紹介	11
12	三日月	西分	9月10日	ふれあいサロンの紹介	8
13	小城	円光寺 (サロン)	10月18日	レクリエーション紹介	11
14	小城	正徳町 (サロン)	10月22日	レクリエーション作成	8
15	小城	西分 (サロン)	12月10日	レクリエーション紹介	6
16	牛津	練ヶ里 (サロン)	1月25日	折り紙指導	3
17	三日月	緑 (サロン)	2月6日	百歳体操の紹介	4
18	小城	鯖岡 (サロン)	2月18日	レクリエーション紹介・健康体操	6
19	牛津	練ヶ里 (サロン)	2月22日	折り紙指導	3
20	芦刈	牛王 (サロン)	3月26日	百歳体操の紹介	13

計 152 人

平成30年度 事業報告

事業名	弁護士無料法律相談の開設																							
期 日	通年	担当者	地域福祉推進係 井上 各支所担当者																					
開催場所	社会福祉協議会 各支所(月1回 各町まわし)																							
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 地域における見守り・支えあい体制と外出支援の拡充																							
実施内容	<p>1. 目 的 法的な生活問題に対して、弁護士による早期解決の相談支援を行う。</p> <p>2. 内 容 1回につき6人まで（1人30分以内）を限度に、法的な生活問題に対して、佐賀県弁護士会より派遣された弁護士による法律相談支援を行う。</p> <p>3. 対象者 小城市内在住者</p> <p>4. 利用料 無料</p> <p>5. 主 催 小城市社会福祉協議会</p> <p>6. 協 力 佐賀県弁護士会</p> <p>7. 事 業 福祉育成・援助活動事業</p> <p>8. 予算額 360,000円（10,000円×3時間×12人）</p>																							
特記事項 (反省・課題)	<p>(相談実績)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">開催回数</th> <th style="width: 35%;">相談者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小城市</td> <td>3回</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>三日月町</td> <td>3回</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>牛津町</td> <td>3回</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>芦刈町</td> <td>3回</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>12回</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>12回</td> <td>56人</td> </tr> </tbody> </table> <p>初回相談の方優先のため、複数回利用したい方は、弁護士会や法テラスなどを紹介するようにしている。</p> <p>相談内容によっては専門家による支援は必要であり、毎回各町で定員数近くまで予約されていることから、今後も継続していく。</p>				開催回数	相談者数	小城市	3回	18人	三日月町	3回	14人	牛津町	3回	17人	芦刈町	3回	15人	平成30年度	12回	64人	平成29年度	12回	56人
	開催回数	相談者数																						
小城市	3回	18人																						
三日月町	3回	14人																						
牛津町	3回	17人																						
芦刈町	3回	15人																						
平成30年度	12回	64人																						
平成29年度	12回	56人																						

平成30年度 事業報告

事業名	第9回小城市福祉大会
日時	11月10日(土) 9時30分から13時30分まで
場所	小城保健福祉センター「桜楽館」多目的ホール、駐車場
参加人員	307人(平成29年度 367人)
担当者	地域福祉推進係、職員
地域福祉活動計画	基本目標 住民主体の地域づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発及び福祉教育の推進
実施内容	<p>1. 目的 少子高齢化の急速な進展に加えて、核家族化の進行により家庭環境の変化と地域力の低下が問題になっているなかで、市民と様々な関係団体とが協働し、社会全体で支えあっていく仕組みを構築していくことが急務となっている。 このため、より身近な地域で市民同士が支えあう力を引きだし、誰もが住み慣れたまちで安心して住み続けられる福祉のまちづくりの実現を目指すことを目的として開催する。</p> <p>2. 表彰 (1) 個人表彰 ①社会福祉協議会役員及び評議員（8年以上） 2人 ②福祉団体役員（8年以上） 3人 ③子育てサポーター（8年以上） 5人 ④地域福祉活動功労者 1人 計 11人 (2) 全国民生委員児童委員連合会会長表彰伝達(永年勤続) 5人</p> <p>3. 講演 講師 神戸常盤大学教授 医学博士 柳本有二氏 演題 「地域でいきいき暮らそう」 ～認知症予防と総合的な体力づくり～</p> <p>4. イベント 小城地区と多久地区の福祉作業所で開催されている「第8回小城・多久あったか祭り」と共催。</p> <p>5. 検討・協議 (1) 実行委員会 小城市区長連絡協議会(小城町会長、三日月町会長、牛津町会長、芦刈町会長)、小城市地域婦人会長、小城市老人クラブ連合会長、小城市ボランティア連絡協議会長、小城市民生委員児童委員連絡協議会長の8名で組織し、大会開催に向け検討・協議を行った。 (2) 審議会(係長以上及び検討委員) 当協議会の事務局長、課長、係長の7名と検討委員9名で、実行委員会に提案する内容や準備、当日の運営について協議を行った。 (3) 検討委員会 当協議会の職員(9名)を中心に大会の内容の検討・協議や各部門の作業を分担し、大会開催に向けて準備や運営などを行った。 (4) 小城・多久あったか祭り打合せ 8月から3回開催された打合せ会に参加し、準備や当日の運営状況について打合せを行った。</p> <p>6. 開催の周知方法 社協だより「絆」への掲載や、各商業施設や各町公民館、福祉施設、駅など人通りが多い場所77か所にポスターを掲示し、周知を行った。</p>

	<p>7. その他</p> <p>福祉大会終了後、桜楽館北側駐車場や多目的ホールでは、小城地区と多久地区の福祉作業所などが開催されている「第8回小城・多久あったか祭り」と共催で開催した。作業所による出店やポニー乗馬、ラムネ飲み大会等が行われた。</p> <p>職員だけでは対応できない業務(受付、案内、駐車場整理など)については、小城市ボランティア連絡協議会より協力をいただいた。</p>
特記事項	<p>参加者の方より内容について大変よかったとの声が多く聞かれた。</p> <p>実行委員会やボランティアさんなどの協力により、無事、盛会に終了することが出来た。</p>

平成30年度 事業報告

事業名	福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)																										
期 日	通年																										
担 当 者	地域福祉推進係 原、友貞																										
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 生活困窮者、ひとり親家庭、障がい者等への相談支援と権利擁護の推進																										
実施内容	<p>1. 目的 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が低下されている方を対象に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の援助などを行うことを目的として実施する。</p> <p>2. 事業の取り組み 佐賀県社会福祉協議会からの受託事業 利用者の希望に基づいた計画書により、生活支援員が金銭の支払いや簡単な福祉サービスの利用手続きなどを行う。</p> <p>3. 利用料</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">1時間未満</td> <td style="text-align: right;">1,200円</td> </tr> <tr> <td>以降30分毎に</td> <td style="text-align: right;">600円を加算</td> </tr> <tr> <td>生活支援員の交通費</td> <td style="text-align: right;">37円 / km</td> </tr> <tr> <td>貸金庫(佐賀銀行小城支店)</td> <td style="text-align: right;">350円 / 月</td> </tr> <tr> <td colspan="2">生活保護世帯は利用料を免除</td> </tr> </table> <p>4. 現在の状況(平成31年3月31日現在)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 30%; text-align: center;">契 約 件 数</td> <td style="width: 20%;">認知症高齢者</td> <td style="width: 50%;">2件(うち生活保護受給者 1件)</td> </tr> <tr> <td>知的障害者</td> <td>4件(うち生活保護受給者 3件)</td> </tr> <tr> <td>精神障害者</td> <td>2件(うち生活保護受給者 1件)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成30年度新規契約</td> <td style="text-align: center;">2件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成30年度解約</td> <td style="text-align: center;">1件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">年度末の生活支援員</td> <td style="text-align: center;">3人</td> </tr> </table> <p>5. 相談件数 延べ347件(平成29年度 246件) (認知症高齢者73件 知的障がい者75件 精神障がい者197件 その他2件)</p>	1時間未満	1,200円	以降30分毎に	600円を加算	生活支援員の交通費	37円 / km	貸金庫(佐賀銀行小城支店)	350円 / 月	生活保護世帯は利用料を免除		契 約 件 数	認知症高齢者	2件(うち生活保護受給者 1件)	知的障害者	4件(うち生活保護受給者 3件)	精神障害者	2件(うち生活保護受給者 1件)	平成30年度新規契約		2件	平成30年度解約		1件	年度末の生活支援員		3人
1時間未満	1,200円																										
以降30分毎に	600円を加算																										
生活支援員の交通費	37円 / km																										
貸金庫(佐賀銀行小城支店)	350円 / 月																										
生活保護世帯は利用料を免除																											
契 約 件 数	認知症高齢者	2件(うち生活保護受給者 1件)																									
	知的障害者	4件(うち生活保護受給者 3件)																									
	精神障害者	2件(うち生活保護受給者 1件)																									
平成30年度新規契約		2件																									
平成30年度解約		1件																									
年度末の生活支援員		3人																									
特記事項	<p>判断能力に不安がある方にとっては必要不可欠な事業であり、近年の事例を見ると障害者相談支援センターや包括支援センター等だけで解決できない複雑な問題を抱えている世帯からの相談も増えている。</p> <p>これからは特に相談支援センターや事業所等と連携を密にして進めていく必要がある。</p>																										

平成30年度 事業報告

事業名	ボランティアセンター事業
期 日	通年
担 当 者	地域福祉推進係 井上・末岡・吉村
地域福祉活動計画	<p>基本目標 みんなで支える地域づくり</p> <p>基本施策 ボランティアの育成と活性化</p>
実施内容	<p>1. 目 的</p> <p>小城市内におけるボランティア活動を推進するため、あらゆる機会を通じてボランティア活動に対する住民の関心を高め、住民のニーズを積極的に開拓する。また、活動にあたって必要な援助を行うことにより、いつでも、どこでも、誰でも、ボランティア活動に参加できる体制の整備に努め、もって地域における福祉コミュニティの形成を図る。</p> <p>2. 内 容</p> <p>ボランティア情報 社協だより「絆」(年6回発行)に現在のボランティアグループの情報や新登録グループの情報、イベント情報などを掲載し、普及啓発を図る。</p> <p>ボランティアの拠点づくり 各町にボランティアルームを設置し、ボランティア活動の推進を図る。</p> <p>相談・登録・斡旋 内容 ボランティア活動上の調整、施設への派遣依頼、学校への派遣依頼・調整、個人対応のボランティア派遣依頼・調整などボランティア活動の内容、見学等について 斡旋 延べ122件(ボランティア6件、サロン35件、施設20件、地域1件、学校23件、児童クラブ37件、その他0件)</p> <p>24時間テレビチャリティー募金活動支援 8月25日(土)に市内の中学生が行う街頭募金活動、福祉施設が行う募金箱による活動の支援を行った。 募金総額 428,921円</p> <p>講座開催 読み聞かせボランティア講座(計3回) 子どもの想像力を育み、言語能力を高め、人間関係を豊かにすると言われている読み聞かせについて、子どもにとって見やすい絵本も持ち方や聞き取りやすい読み方、よい絵本の選び方を学び、現在読み聞かせの活動をしているボランティアのスキルアップを図る。 (開催日) 2月2日(土)、2月16日(土)、2月23日(土) (参加者) 10人(延べ22人)</p>

<p>実施内容</p>	<p>ひとり親家庭支援ボランティア講座 現在の家庭環境の変化、家庭のあり方について学び、ひとり親家庭の児童の学習支援ができるボランティアを育成する。 (開催日) 2月14日(木) (参加者) 11人</p> <p>生活支援ボランティア養成講座 地域の高齢者のちょっとだけ困っていることを解決するボランティアを養成する。 (開催日) 9月4日(火)、10月19日(金)、10月25日(木)、10月29日(月)、 11月5日(月) (参加者) 29人(延べ55人)</p> <p>災害ボランティア講習会 益城町社会福祉協議会 事務局次長の緒方氏をお招きし、平成28年熊本地震での災害ボランティアセンター活動や住民としての活動、災害ボランティアセンター閉所後の支えあいセンターの取り組みなど講話いただいた。 その後、小城市内の防災関係団体の方や自主防災組織の代表者などを交え「熊本地震から何を学ぶか」をテーマとしてパネルディスカッションを行った。 (開催日) 11月23日(金) (参加者) 52人</p> <p>小城市ボランティア連絡協議会 事務局業務 小城市ボランティア連絡協議会事務局として、各団体の活動推進に寄与する。 登録グループ数 53グループ 706人(個人ボランティア含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小城市支部 ふれあい会食会 桜岡校区 6月 6日(水) 78人 <li style="padding-left: 150px;">岩松校区 6月 7日(木) 83人 <li style="padding-left: 150px;">晴田校区 6月 1日(金) 62人 <li style="padding-left: 150px;">三里校区 5月 9日(水) 37人 ・三日月支部 ふれあいの集い 5月29日(火) 106人 <li style="padding-left: 150px;">放課後児童クラブ交流会 8月27日(月) 95人 <li style="padding-left: 150px;">8月28日(火) 110人 ・おはなしフェスタおぎ 10月27日(土) 100人 ・ボランティアフェスタ 10月24日(水) 97人 <p>ボランティア保険取扱業務 ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償を取扱い、ボランティア活動時の事故等に備える。 加入者数(延べ) 活動保険(662人)、行事用保険(5件 .291人)</p>
-------------	--

特記事項	<ul style="list-style-type: none">・昨年と同様に、放課後児童クラブや福祉施設などからのボランティア派遣依頼が多くあった。・ボランティア養成のための各種講座も計画どおり実施できた。・24時間テレビチャリティー募金は、市内4中学校の活動を支援した。・小城市ボランティア連絡協議会業務として、小城町、三日月町の会食会やボランティアフェスタなどのイベント開催に伴う連絡調整等を行った。 <p>各グループとも活発に活動されているが、新しくグループに加入される方が少ないので、広報等でグループ紹介や新しいボランティアグループの育成に努める。</p>
------	--

平成30年度 事業報告

事業名	ボランティアスクール		
期 日	11月3日(土) 10時から11時30分 11月17日(土) 8時から17時		
場 所	ショッピングプラザセリオ 九州盲導犬訓練センター、玄海次世代エネルギーパークあすぴあ		
参加人員	23人(児童 8人、指導員 15人)	担当者	地域福祉推進係 井上、末岡
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 ボランティアの育成と活性化		
実施内容	<p>1.目的 他の学校の児童と交流を深めながら、他人を思いやる心や相手の立場に立って考える「ゆたかな心を育む子ども」を育成する。</p> <p>2.内 容 盲導犬ユーザーの講話、盲導犬育成支援のための募金活動(11月3日) 九州盲導犬訓練センター、玄海次世代エネルギーパークあすぴあ(11月17日)</p> <p>3.参加対象者 小城市内小学生(4・5・6年生)</p> <p>4.参加費 1,000円(昼食・保険料)</p> <p>5.主 催 小城市社会福祉協議会・小城市民生委員児童委員連絡協議会</p>		
特記事項	平成30年度は、これまでの九州盲導犬訓練センターでの見学に加え、盲導犬ユーザーから普段の生活についての講話や盲導犬育成のための募金活動を行った。(募金額 13,139円 全て九州盲導犬訓練センターへ寄付)		

平成30年度 事業報告

事業名	学校ボランティア育成事業		
期 日	連絡会議 5月11日 福祉の体験学習 ・晴田小学校 6月19日 アイマスク体験 6月26日、29日 車いす体験 ・岩松小学校 11月14日 アイマスク体験 11月30日 車いす体験 ・桜岡小学校 11月6日 車いす体験 ・三日月小学校 9月19日 アイマスク体験 9月20日 車いす体験 ・砥川小学校 11月2日 車いす体験 11月16日 アイマスク体験 ・三日月中学校 10月14日 車いす体験 ・芦刈観瀾校中等部 9月13日 福祉に関する講話、車いす体験 9月14日 アイマスク体験		
場 所	連絡会議 桜楽館 福祉の体験学習 各学校内		
参加人員	連絡会議 10人	担当者	地域福祉推進係 井上、末岡
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 ボランティアの育成と活性化		
実施内容	1. 目 的 少子高齢化の急速な進展に加え、核家族化の進行により家庭環境の変化と地域力の低下が進む中、市民が安心・安全に豊かに生活ができるように、地域社会で顔なじみになり、お互い支え合いの仕組みを構築することが重要である。 そのため次代を担う、児童・生徒に対し、福祉教育の充実とボランティア活動(市民活動)の機会や地域の人との交流を深め、たくましく豊かな心を育むことを目的とする。 2. 内 容 市内の小・中学校及び高等学校14校をボランティア活動協力校に指定し、各学校独自に計画したプログラムを実施するための費用を助成する。 また、社会福祉協議会として各学校のプログラムに協力し、高齢者・障がい者の理解につながる支援・指導を行う。 3. 参加対象者 市内小・中学校及び高等学校のボランティア担当教諭および児童・生徒 4. 主 催 小城市社会福祉協議会 5. 予 算 555,000円(活動助成金)		
特記事項	・今年度も各学校で様々な活動が行われ、児童、生徒のボランティア活動への意識が高まった。 ・福祉体験学習も例年と変わらず、学校から多くの依頼をいただき、実施することができた。その際、児童生徒だけではなく、教職員の方にも福祉について理解していただき、事後学習がより有意義なものになるように支援を行った。		

平成30年度 小城市学校ボランティア育成事業協力校 助成金交付一覧

学校名	助成額	主な活動
桜岡小学校	40,000円	募金活動、ベルマーク回収 花壇・プランターづくり、清掃活動
岩松小学校	40,000円	募金活動、福祉体験活動、保育園との交流 祇園川清掃、地域清掃
晴田小学校	40,000円	募金活動、福祉体験学習、人権教室 特別支援学校との交流、地区へのプランター贈呈
三里小学校	40,000円	花いっぱい運動 アルミ缶・ペットボトルキャップ回収、クリーン作戦
三日月小学校	40,000円	募金活動、プルタブ・ペットボトルキャップ回収 福祉施設との交流
牛津小学校	40,000円	ベルマーク・ペットボトルキャップ回収 募金活動、地区の方との交流会
砥川小学校	40,000円	環境美化活動、福祉体験活動、募金活動 石工の里保存を訴えるカレンダーづくりと募金活動
芦刈観瀾校小学部	40,000円	ひとり暮らしの方へのお便り作成、地域美化活動 ボランティアランド、ひまわりデイサービス訪問
小城中学校	35,000円	プルタブ・ペットボトルキャップ回収 24時間テレビ募金活動、学校周辺の清掃活動
三日月中学校	40,000円	ペットボトルキャップ回収、地区の清掃活動 24時間テレビ募金活動
牛津中学校	40,000円	募金活動、希望の花プロジェクト、施設訪問 産業祭りでの清掃活動、24時間テレビ募金活動
芦刈観瀾校中学部	40,000円	校内清掃、ペットボトルキャップ収集 施設訪問、24時間テレビ募金活動
小城高等学校	40,000円	募金活動、プルタブ・ペットボトルキャップ回収 地区の河川清掃、高校周辺の清掃活動
牛津高等学校	40,000円	弁当掛け紙絵作成、津の里ミュージアム、 施設訪問、奉仕活動、季節のお便り作成
計	555,000円	

福祉資金貸付事業

(26 P ~ 27 P)

平成30年度 事業報告

事業名	生活福祉資金貸付事業																																					
期 日	通年																																					
受付場所	小城市社会福祉協議会 本所																																					
対 象 者	小城市民	担当	自立支援センター相談員																																			
地域福祉活動計画	基本目標 : 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 : 生活困窮者、ひとり親家庭、障がい者等への相談支援と権利擁護の推進																																					
実施内容	1. 目的 低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とする。																																					
	2. 内 容 佐賀県社会福祉協議会が実施する貸付事業の相談受付及び申請。																																					
	3. 実 績 相談件数																																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合支援資金</td> <td>4件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>福祉費</td> <td>2件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>教育支援資金</td> <td>4件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>療養・介護</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>緊急小口</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>臨時特例つなぎ資金</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>不動産担保型生活資金</td> <td>3件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13件</td> <td>4件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請件数</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>貸付件数</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>				平成30年度	平成29年度	総合支援資金	4件	1件	福祉費	2件	3件	教育支援資金	4件	0件	療養・介護	0件	0件	緊急小口	0件	0件	臨時特例つなぎ資金	0件	0件	不動産担保型生活資金	3件	0件	合計	13件	4件		平成30年度	平成29年度	申請件数	0件	0件	貸付件数	0件
	平成30年度	平成29年度																																				
総合支援資金	4件	1件																																				
福祉費	2件	3件																																				
教育支援資金	4件	0件																																				
療養・介護	0件	0件																																				
緊急小口	0件	0件																																				
臨時特例つなぎ資金	0件	0件																																				
不動産担保型生活資金	3件	0件																																				
合計	13件	4件																																				
	平成30年度	平成29年度																																				
申請件数	0件	0件																																				
貸付件数	0件	0件																																				
特記事項 (課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの貧困問題に関連して、教育支援資金の相談が増加している。学校で奨学金の案内をしているが、子どもが親に伝えていないケースが目立つ。 ・ 一人暮らし高齢者の増加により不動産担保型生活資金の相談が3件あったが、土地のみで1,000万円の不動産価値がないと融資できないため、小城市内での貸付は難しい。 																																					

平成30年度 事業報告

事業名	福祉資金貸付事業																	
期 日	通年																	
受付場所	小城市社会福祉協議会 各支所																	
対 象 者	小城市民	担当	自立支援センター相談員 各支所担当者															
地域福祉 活動計画	基本目標 : 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 : 生活困窮者、ひとり親家庭、障がい者等への相談支援と権利擁護の推進																	
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>小城市社会福祉協議会が、低所得世帯、障害者世帯及び母子世帯に対して資金の援助指導を行うことにより、経済的自立と生活意欲の助長を促進し安定した生活を営むことを目的とする。</p> <p>2. 内容</p> <p>生活、葬祭、医療及び就学支度に必要な資金を限度額50,000円まで貸付けることができる。ただし、借入申請者は小城市内に居住する連帯保証人を付け、所定の借入申請書を担当地区の民生委員を通じて、小城市社会福祉協議会に提出しなければならない。</p> <p>3. 実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;"></th> <th style="width: 30%;">平成30年度</th> <th style="width: 30%;">平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td style="text-align: center;">8件</td> <td style="text-align: center;">15件</td> </tr> <tr> <td>貸付件数</td> <td style="text-align: center;">4件</td> <td style="text-align: center;">4件</td> </tr> <tr> <td>貸付金額</td> <td style="text-align: center;">144,000円</td> <td style="text-align: center;">70,000円</td> </tr> <tr> <td>償還金額</td> <td style="text-align: center;">40,000円</td> <td style="text-align: center;">150,000円</td> </tr> </tbody> </table>				平成30年度	平成29年度	相談件数	8件	15件	貸付件数	4件	4件	貸付金額	144,000円	70,000円	償還金額	40,000円	150,000円
	平成30年度	平成29年度																
相談件数	8件	15件																
貸付件数	4件	4件																
貸付金額	144,000円	70,000円																
償還金額	40,000円	150,000円																
特記事項 (課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護費受給までのつなぎ貸付が増加している。また、電気が止められてしまうなど生活が行き詰ってからの相談が多い。 ・今後の貸付相談についても申請が妥当なものか見極め、生活自立支援センターと連携を図りながら必要な方への支援を行う。 																	

小城市受託事業

(28 P ~ 42 P)

平成30年度 事業報告

事業名	軽度生活支援事業及び地域生活応援業務		
期 日	通年		
場 所	小城市全域		
対 象 者	虚弱な一人暮らし高齢者等	担当者	地域生活支援課 一ノ瀬、森
地域福祉活動計画	基本目標	みんなで支える地域づくり	
	基本施策	地域における見守り・支え合い体制と外出支援の促進	
軽度生活支援実施内容	1、目的	在宅の概ね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者等へ軽易な日常生活上の支援を行うことにより、自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行防止を図ることを目的として実施する。	
	2、内容	食事、食材の確保、調理支援 衣類等の洗濯 家屋内の整理整頓、掃除 その他軽易な日常生活上の支援 見守りキーホルダーの声かけ、配備、更新の手続き 市役所や包括支援センターへ情報提供や相談	
	3、対象者	介護保険の要支援・要介護認定を受けていない概ね 65 歳以上の高齢者で、心身状態が低下し支援が必要な方。 (ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯で市に申請後認定された方)	
	4、利用料	300円/時間 (超過30分毎150円)生活保護世帯は半額	
	5、利用延人数	平成30年度年間 231人 (実人員 20人) 平成29年度年間 224人 (実人員 19人)	
	6、利用延回数	平成30年度年間 972回 平成29年度年間 940回	
地域生活応援業務実施内容	1、目的	安否確認の訪問見守り(無料)・関係機関との連携、福祉サービスのつなぎ支援等を行う。	
	2、内容	訪問延件数 173件/年間 訪問時間79時間25分/年間 (平成29年度件数延べ265件/年間 訪問時間115時間15分/年間) 市役所や包括支援センターへ情報提供や相談 見守りキーホルダーの声かけ、配備、更新手続き	
	3、対象者	見守り支援が必要なひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯	
	4、対象者数	小城1世帯1人、三日月1世帯2人、牛津2世帯3人、芦刈なし 合計 4世帯6人(平成31年3月末現在) (平成29年度 小城1世帯1人、三日月1世帯2人、 牛津2世帯3人、芦刈なし 合計 4世帯6人)	
課題・特記	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時の利用者の方の体調の特変に病院受診の声掛け、ご家族や市役所、医療機関へつなぎ、連携して早期の対応をした。 ・必要と思われる他サービスの情報提供等や、入院を機に介護保険サービスへ移行するケースもあり、移行時は関係機関に適切につなぐ。 ・困難事例の方の見守り支援は、包括支援センターや民生委員の方と連携を取って支援を行う。 		

平成30年度 事業報告

事業名	生きがい活動支援通所事業(南部生きがいデイサービス)																														
期 日	通年(稼働251日)	担当者	地域生活支援通所係 北村 古賀 諸隈 野田																												
場 所	芦刈保健福祉センター「ひまわり」																														
参加人員	延べ 3,643人(1日平均14.5人) (平成29年度 稼働247日 延べ3,811人(1日平均15.4人))																														
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本方針 地域での交流の機会・場の拡充と世代間交流の促進																														
実施内容	<p>1.目的 小城市が定めた特定高齢者等に対し、積極的に筋力向上や生きがい活動を行い、生活機能の低下を防ぎ、要支援・要介護状態になることを予防するとともに高齢者ができる限り自立した生活を営むことができるよう支援する。</p> <p>2.登録者</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦刈町</td> <td>3人</td> <td>25人</td> <td>28人</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>牛津町</td> <td>5人</td> <td>53人</td> <td>58人</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8人</td> <td>78人</td> <td>86人</td> <td>93人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3.活動内容</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 元気アップ教室 120日 1,509人</td> <td>(1,448人)</td> </tr> <tr> <td>(2) フォローアップ教室 120日 1,405人</td> <td>(1,445人)</td> </tr> <tr> <td>(3) 生きがい活動 251日 729人</td> <td>(918人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>認知症予防、レクリエーション活動、趣味活動 芦刈観瀾校との交流会(小学1年生～4年生・中学2、3年生) ボランティア団体との交流会 芦刈町ひな祭り会・文化祭参加 野外活動(年3回) 桜見物、梅林見物、買い物 交通安全教室(年2回) 自主手芸 おやつ作り 防火訓練参加</p>			地区名	男性	女性	平成30年度	平成29年度	芦刈町	3人	25人	28人	41人	牛津町	5人	53人	58人	52人	合計	8人	78人	86人	93人		平成29年度	(1) 元気アップ教室 120日 1,509人	(1,448人)	(2) フォローアップ教室 120日 1,405人	(1,445人)	(3) 生きがい活動 251日 729人	(918人)
地区名	男性	女性	平成30年度	平成29年度																											
芦刈町	3人	25人	28人	41人																											
牛津町	5人	53人	58人	52人																											
合計	8人	78人	86人	93人																											
	平成29年度																														
(1) 元気アップ教室 120日 1,509人	(1,448人)																														
(2) フォローアップ教室 120日 1,405人	(1,445人)																														
(3) 生きがい活動 251日 729人	(918人)																														
特記事項 (反省・課題)	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者を増やすため、サロンや老人会などに出向き、周知を図る。 ・自立した在宅生活が継続できるよう、各関係機関と連携し、介護予防・認知症予防・閉じこもり予防を促進していく。 																														

平成30年度 事業報告

事業名	障害者移送サービス事業		
期 日	通年 8時30分から17時(第4土日、祭日、年末年始を除く)		
移送の範囲	佐賀中部広域連合構成市町内で、運送の発地又は着地のいずれかが小城市内であること。		
年間利用者	延べ1,456人 (平成29年度 1,638人)	担当者	移送サービス支援員 杉山 北島
地域福祉活動計画	基本目標	みんなで支える地域づくり	
	基本施策	地域における見守り・支え合い体制と外出支援の拡充	
実施内容	<p>1. 内 容 市内に在住の障がい者や高齢者の方に、車椅子ごと乗降できる車両で、通院やリハビリ、社会参加等への移送を提供するサービス。</p> <p>2. 利用できる方 市内に住所を有する方で、次の要件を満たす方。 障がい者の方（身体・療育・精神の各手帳所持が原則）や介護保険の要介護認定を受けた方で、市の利用要件に該当され、かつ公共交通機関を利用することが困難な方。 平成31年3月末で60人登録</p> <p>3. 利用料 タクシー料金の概ね半額程度で、待機料金は10分毎に100円が必要。</p> <p>4. 利用目的 病気治療(通院・リハビリ) 福祉サービスの利用 研修会等の社会参加等</p>		
特記事項 (課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度も継続して、土・日曜日の移送サービスを実施したが(事前に予約が必要。)年間利用者は延べ22人で前年度の半数以下だった。事業周知等を行い利用者増を図っていく。 ・新規登録13人、廃止・非継続10人、3月末で60人の登録となっている。 ・利用者の体調や病状に配慮し、丁寧な対応・安全運転に努めていく。 ・年3回予定の佐賀中部地区福祉有償運送運営協議会に参加し、移送サービスの現状や問題点、改善点を確認し現サービスに反映していく。 		

平成30年度障害者移送サービス事業実績報告書

1. 利用実績

当初登録者数	年度中の増減	年度末登録者数	備 考
57人	13人増 10人減	60人	毎年更新の確認実施

2. 月別利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	102件	102件	139件	156件	157件	130件	
料金	68,960円	70,100円	97,400円	113,140円	111,040円	90,340円	
距離	521.5km	535.6km	751.3km	884.1km	860.6km	685.2km	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	150件	107件	89件	90件	113件	121件	1,456件
料金	96,880円	73,580円	60,920円	63,700円	70,200円	71,540円	987,800円
距離	720.4km	537.7km	437.7km	475.8km	523.9km	527.6km	7,461.4km

<平成29年度計> 1,638件 1,016,820円 7,572.4km

3. 事故件数 事故件数 _____ 1件

4. 苦情件数 苦情件数 _____ 0件

5. 利用目的別の件数 ()内は平成29年度実績

目 的	件 数	目 的	件 数
研修会等への参加	0件 (0件)	冠婚葬祭への参加	0件 (0件)
レクリエーション	0件 (0件)	公共機関への移送	0件 (0件)
病院・施設入退院	1,133件(1,356件)	その他	323件 (282件)
		計	1,456件 (1,638件)

6. 身体状況、態様別の件数 ()内は平成29年度実績

状況・態様	件 数
身体障がい者	893件(1,055件)
要介護	311件(297件)
要支援	0件(0件)
その他	252件(286件)
計	1,456件(1,638件)

平成30年度 事業報告

事業名	愛の一声運動推進事業																										
期 日	通年	訪問連絡員数	206人																								
担当者	地域福祉推進係 井上、各支所担当																										
地域福祉活動計画	基本目標	みんなで支える地域づくり																									
	基本施策	地域における見守り・支え合い体制と外出支援の拡充																									
実施内容	<p>1. 目 的 ひとり暮らし高齢者の生活状況を常時把握し、孤立感を慰め、日常生活の安全を確保する。</p> <p>2. 内 容 訪問連絡員を設置し、担当世帯を定期的に訪問し対象者の話し相手や相談相手になり、生活及び健康状態を観察し、必要に応じて民生委員・児童委員などに連絡する。 年に1回訪問員に向けた研修会を行い、資質向上に寄与する。</p> <p>3. 対象者 概ね65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみ世帯</p> <p>4. 主 催 小城市社会福祉協議会</p> <p>5. 協 力 訪問連絡員、民生児童・児童委員</p> <p style="text-align: right;">※()は平成29年度</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 30%;">訪問対象者</th> <th style="width: 30%;">訪問連絡員</th> <th style="width: 30%;">研修会 参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小城市</td> <td>74人(81人)</td> <td>66人(69人)</td> <td>37人(28人)</td> </tr> <tr> <td>三日月町</td> <td>72人(69人)</td> <td>65人(64人)</td> <td>5人(14人)</td> </tr> <tr> <td>牛津町</td> <td>47人(45人)</td> <td>47人(44人)</td> <td>6人(12人)</td> </tr> <tr> <td>芦刈町</td> <td>29人(40人)</td> <td>28人(32人)</td> <td>6人(6人)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>222人(235人)</td> <td>206人(209人)</td> <td>54人(60人)</td> </tr> </tbody> </table>				訪問対象者	訪問連絡員	研修会 参加者数	小城市	74人(81人)	66人(69人)	37人(28人)	三日月町	72人(69人)	65人(64人)	5人(14人)	牛津町	47人(45人)	47人(44人)	6人(12人)	芦刈町	29人(40人)	28人(32人)	6人(6人)	計	222人(235人)	206人(209人)	54人(60人)
		訪問対象者	訪問連絡員	研修会 参加者数																							
	小城市	74人(81人)	66人(69人)	37人(28人)																							
	三日月町	72人(69人)	65人(64人)	5人(14人)																							
	牛津町	47人(45人)	47人(44人)	6人(12人)																							
	芦刈町	29人(40人)	28人(32人)	6人(6人)																							
	計	222人(235人)	206人(209人)	54人(60人)																							
	<p>愛の一声訪問員 研修会(2月6日 10時から実施)</p> <p>講 演 「今日から始めよう 100歳まで楽しく生きるためのセミナー」</p> <p>講 師 ファイナンシャルプランナー 香月 恭弘 氏</p>																										
	特記事項 (反省・課題)	<p>訪問連絡員が減少しているところは、訪問対象者の死亡、転居などにより減少している。しかし、増加しているところもあり、民生委員さんの声掛けの成果と思われる。</p> <p>研修会などを通じて事業を理解してもらい、登録につなげていきたい。</p>																									

平成30年度 事業報告

事業名	高齢者ふれあいサロン事業		
期 日	通年		
場 所	小城市全域		
対 象 者	各地区の概ね 65 歳以上の方 (65 歳未満の方も協力員として参加可)	担当者	ふれあいサロン係 増田・野田・古館・田中
地域福祉 活動計画	基本目標	みんなで支える地域づくり	
	基本施策	地域での交流の機会・場の拡充と世代間交流の促進	
実施内容	<p>1. 目 的 家に閉じこもりがちな高齢者等へ自らが生きがいを見つけ、地域とのつながりを保ち、自立した在宅生活を確保することを支援する。</p> <p>2. 内 容 各地区の公民館へ出向き、介護予防・認知症予防の体操やレクリエーションの紹介、健康や福祉についての情報提供。</p> <p>3. 実施地区 ふれあいサロン（職員派遣） 小城市 11 地区 三日月町 10 地区 牛津町 7 地区 芦刈町 10 地区 各保健福祉センターサロン 3 か所 ※平成 30 年度当初計 44 地区 ⇒ 年度末計 41 地区</p> <p>4. 参加費 無料（活動に伴うその他材料費等は実費負担）</p> <p>5. 主 催 地区住民運営</p> <p>6. 協 力 各行政区長、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、ボランティア</p>		
活動概要	<p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の公民館へ出向き、介護予防・認知症予防の脳トレや体操などを実施。 ・福祉や健康についての情報提供やレクリエーション活動、いきいき百歳体操の紹介などを行う。 ・参加者から気がかり情報を聴いたり、関係機関と連携して支援を行う。 <p>【効 果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民相互の助け合いや通いの場の必要性が理解され、住民交流の場、通いの場づくりについて、地域が主体的に取り組む意識が向上してきた。 ・ふれあいサロンへの参加が介護予防・認知症予防につながっていることが認識されてきた。 <p>【課 題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気がかりな方などのニーズを発見しても、本人や家族への状況把握のためのアプローチが大変難しい。関係機関と連携して、相談支援に取り組む必要がある。 ・新規の参加者を増やす工夫が必要だと感じる。 		

ふれあいサロン実績報告(各地区公民館開催)

	実施回数	参加延べ人数	実施地区数及び参加延べ人数			
			【小城】	【三日月】	【牛津】	【芦刈】
平成 30年度	433回	2,672人	13地区 (612人)	11地区 (645人)	7地区 (748人)	10地区 (667人)
平成 29年度	473回	2,931人	15地区 (706人)	13地区 (724人)	7地区 (774人)	10地区 (727人)

保健福祉センターふれあいサロン実績報告

	実施回数	参加延べ人数	各センター参加延べ人数			
			【桜楽館】	【ゆめりあ】	【アイル】	【ひまわり】
平成 30年度	119回	887人	月・水・金 (465人)	開催なし (0人)	毎週水曜日 (271人)	毎週水曜日 (151人)
平成 29年度	97回	727人	月・水・金 (345人)	開催なし (0人)	毎週水曜日 (214人)	毎週水曜日 (166人)

平成30年度 事業報告

事業名	小城市子育て相互支援事業		
日時	通年	担当者	地域福祉推進係 船津・木塚
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 地域における見守り・支えあい体制と外出支援の拡充		
実施内容	<p>1. 目的 既存の保育サービスでは応じきれない保育ニーズに応え、安心して子育てできる環境づくりを目指す。病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の預かりなど多様なニーズへの対応を図ることを目的とする。</p> <p>2. 事業 ① 育児の支援を受けたい人と支援できる人が会員となり、ファミリーサポートセンターを仲介として、託児・送迎・家事支援等を会員同士で支え合う援助活動の調整 ② 会員に対して相互援助に必要な講習会の開催 ③ 会員の交流を深め、情報交換のための交流会の開催 ④ 子育て支援関連施設・事業と連絡調整</p> <p>3. 活動内容 ① 保育施設の時間外や学校の放課後などの子どもの預かり ② 冠婚葬祭や買い物等外出の際の子どもの預かり ③ 学校・保育施設などの送迎 ④ 出産前後の家事支援 ⑤ 軽度の病児・病後児の預かり</p> <p>4. 登録者数 利用会員649人、協力会員55人</p> <p>5. 活動実績 1,997件、時間5,326時間32分 (送迎託児264件、送迎490件、託児1,091件、家事152件) (平成29年度1,787件、時間4,825時間13分)</p> <p>6. 研修会 ・サポーター養成講座 9月4, 5, 6, 25, 26, 27, 28日 11講座に33人参加(新規修了者5人) ・協力会員研修 2月28日 伊万里市子育て支援センターへ視察及び情報交換会に14人参加</p> <p>7. 利用料金 平日の8時から18時は原則1時間400円(利用者負担) (※市から1時間あたり200円の補助あり)</p>		
特記事項 (反省・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座を開催し、協力会員の募集を行っているが、送迎出来るサポーターが不足している。市内の送迎はなんとか対応できるが、市外への送迎については今後、検討が必要。 ・特別な支援の必要な子どもに対応できるスタッフおよびサポーターのスキルアップが求められる。 ・子育ての不安感や負担感、孤立感を軽減していけるように親子に寄り添う支援がますます重要になっている。 ・病気・病後児の託児は、対応できるサポーターが少なく、また、病児の緊急相談医として小城市民病院の小児科医師が平成31年度から非常勤にかわり、平成31年度までとの申し出があつているので小城市と検討する。 		

平成30年度 事業報告

事業名	小城市地域子育て支援拠点事業		
日時	通年	担当者	地域福祉推進係 木塚・山田・中村(真)
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 地域での交流の機会・場の拡充と世代間交流の促進		
実施内容	1. 目的 子育て中の親の孤独感や不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。 2. 事業 ①乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報の提供、助言を行う。 ②乳幼児の子どもをもつ親のためのサポートのための学習プログラムの開催 3. 活動内容 ・桜楽館(小城保健福祉センター) 毎週月曜日・金曜日(10:00~12:00)水曜日(10:00~15:00) ・ひまわり(芦刈保健福祉センター) 毎週火曜日(10:00~15:00)木曜日(10:00~13:00) 4. 活動実績 ①・桜楽館 大人2,843人 子ども2,982人 (平成29年度 大人3,350人 子ども2,594人) ・ひまわり 大人989人 子ども1,028人 (平成29年度 大人554人 子ども652人) ②学習プログラム 全6回×2クールで16人の参加		
特記事項 (反省・課題)	・核家族化が進行するなか、子育ての悩みを相談できる人が少なく、ひとりで抱え込んでいる人が増えてきているので身近な相談相手になれるようにスタッフやボランティアのスキルアップを図る。 ・ひまわりでの子育てサロンの開催日が1日増え、大変喜ばれている。		

平成30年度 事業報告

事業名	小城保健福祉センター「桜楽館」の管理・経営														
期 日	通年														
場 所	小城市小城保健福祉センター「桜楽館」 小城市小城町畑田750番地														
総利用人員	60,629人	担当	地域福祉企画課、小城支所												
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 暮らしやすい生活環境の整備と既存施設の有効活用														
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。</p> <p>また、各福祉団体やボランティアグループ及び子育て支援事業の拠点として利用されている「桜楽館」を社協が管理することによって、より以上に地域住民や各種団体と連携・協働が可能になり、小城市地域福祉活動計画に基づく「笑顔で安心なまちづくり」を推進する。</p> <p>2. 管理内容</p> <p>通常勤務の管理人1人とその他に土・日曜日及び「国民の祝日」に対応した日々雇用の職員4人を配置して管理している。その他に管理業務や運營業務は、社協職員が兼務している。</p> <p>3. 利用実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">利用者数</th> <th style="width: 35%;">利用料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30年度</td> <td style="text-align: center;">60,629人</td> <td style="text-align: center;">1,446,800円</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td style="text-align: center;">64,072人</td> <td style="text-align: center;">1,713,100円</td> </tr> <tr> <td>前年対比</td> <td style="text-align: center;">3,443人の減</td> <td style="text-align: center;">266,300円の減</td> </tr> </tbody> </table>				利用者数	利用料金	H30年度	60,629人	1,446,800円	H29年度	64,072人	1,713,100円	前年対比	3,443人の減	266,300円の減
	利用者数	利用料金													
H30年度	60,629人	1,446,800円													
H29年度	64,072人	1,713,100円													
前年対比	3,443人の減	266,300円の減													
特記事項 (課題)	<p>①利用状況について</p> <p>福祉大会時に無料入浴券を配布して利用増を図ったが、効果が少なかった。利用者・利用料ともに減少しているため、PR やイベント開催等の検討が必要。</p> <p>②災害時自主避難所の対応</p> <p>平成30年度は台風接近や大雨で5回自主避難所を開設した。</p> <p>③毎週水曜日の子育てサロンの利用者が増えている。</p> <p>④平成31年度より電力契約を新電力(新出光)へ変更して経費の節約を図る。</p>														

平成30年度 事業報告

事業名	芦刈保健福祉センター「ひまわり」の管理・経営														
期 日	通年														
場 所	小城市芦刈保健福祉センター「ひまわり」 小城市芦刈町三王崎1522番地														
総利用人員	16,743人	担当	地域福祉企画課、芦刈支所												
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 暮らしやすい生活環境の整備と既存施設の有効活用														
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。</p> <p>また、各福祉団体やボランティアグループ及び子育て支援事業の拠点として利用されている「ひまわり」を社協が管理することによって、より以上に地域住民や各種団体と連携・協働が可能となり、小城市地域福祉活動計画に基づく「笑顔で安心なまちづくり」を推進する。</p> <p>2. 管理内容</p> <p>通常勤務の管理人1人とその他に土・日曜日及び「国民の祝日」に対応した日々雇用の職員4人を配置して管理している。その他に管理業務や運營業務は、社協職員が兼務している。</p> <p>3. 利用実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 40%;">利用者数</th> <th style="width: 40%;">利用料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30年度</td> <td>16,743人</td> <td>292,950円</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>16,559人</td> <td>327,800円</td> </tr> <tr> <td>前年対比</td> <td>184人の増</td> <td>34,850円の減</td> </tr> </tbody> </table>				利用者数	利用料金	H30年度	16,743人	292,950円	H29年度	16,559人	327,800円	前年対比	184人の増	34,850円の減
	利用者数	利用料金													
H30年度	16,743人	292,950円													
H29年度	16,559人	327,800円													
前年対比	184人の増	34,850円の減													
特記事項 (課題)	<p>①利用状況について</p> <p>浴室無料券を配布して利用者増を図ったが、効果が少なかった。また、利用料収入が少ないので、学校関係へ宿泊利用のPRが必要である。</p> <p>②災害時の自主避難所の対応</p> <p>平成30年度は台風接近や大雨で5回自主避難所開設となった。平成31年度も災害発生が予測される場合は迅速に対応できるようにする。</p> <p>③平成31年度より電力契約を新電力(新出光)へ切りかえて経費節約を図る。</p>														

平成30年度 事業報告

事業名	高齢者生きがいづくり講座事業			
期 日	通年	参加人数	1,483人	
場 所	小城保健福祉センター「桜楽館」(6講座) 三日月保健福祉センター「ゆめりあ」(1講座)・小城市役所別館(1講座) 牛津公民館 別館(1講座) 芦刈保健福祉センター「ひまわり」(1講座)			
担当者	地域福祉推進係 井上			
地域福祉活動計画	基本目標	みんなで支える地域づくり		
	基本施策	地域での交流の機会・場の拡充と世代間交流の促進		
実施内容	1. 目的 高齢者の生きがいと社会参加を促進するために、高齢者の趣味活動の普及および創作活動の振興などにつながる講座を開催する。			
	2. 内容 ボランティアで行っていただいている講師の指導のもと、毎月1～2回の講座を開催して趣味活動や創作活動を行い、交流を深めながら外出の機会を増やす。			
	3. 対象者 概ね65歳以上の小城市内在住者			
	4. 参加費 無料(材料費などの実費は本人負担)			
	5. 主催 小城市社会福祉協議会			
		講座名	受講者数	回数(延)
	小城	短歌	11人	23回
		レザークラフト	8人	23回
		水墨画	13人	23回
		生け花	20人	12回
	健康マージャン教室	34人	12回	
	写真教室	10人	11回	
三日月	園芸教室	17人	11回	
	健康マージャン教室	20人	12回	
牛津	健康マージャン教室	36人	12回	
芦刈	健康マージャン教室	20人	11回	
	合計	189人	150回	
	29年度	219人	152回	
		1,483人		
特記事項 (反省・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は講師の都合によりカラオケ教室が開催出来なかった。そのため昨年に比べ受講者数が減少した。 ・どの講座の参加者も意欲的に活動されており、講座継続の要望も高いことから現在の講座は引き続き続けていきたい。 ・生きがい講座展示会は平日に開催した。来場者も前年と変わりなく100名を超える方にご来場いただけた。 			

平成30年度 事業報告

事業名	小城・多久障害者相談支援事業																																		
期 日	通年	担当者	小城・多久障害者相談支援センター 卯野木、佐々木、土岐、大垣内、古賀、鳥辺																																
地域福祉活動計画	基本目標:安心して暮らせる地域づくり 方向性 :相談支援体制の充実と人材の確保 基本施策:生活困窮者、ひとり親家庭、障がい者等への相談支援と権利擁護の推進																																		
地域福祉活動計画実施内容	<p>1. 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①障害者相談支援センター事業 ②障害者虐待防止センター事業 <p>2. 事業内容</p> <p>障がいがある方やその家族等の地域における生活を支援するため、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用、介護相談、権利擁護のために必要な援助、専門機関等の情報提供等を行う。夜間を含めて緊急に対応が必要となる場合における相談支援、関係機関との連絡・調整を行うと共に、障がい者虐待に関する通報届出の窓口や、指定相談支援事業所として福祉サービスの利用計画の作成等の支援を行う。</p> <p>3. 活動状況</p> <p>(1)総合相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談受付件数 延べ3, 323件(小城2, 387件 多久915件 他21件) 【H29年度 2, 967件 小城2, 123件 多久823件 他21件】 <div style="text-align: center;"> <h3>障がい別相談受付件数</h3> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption>障がい別相談受付件数 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>障がい種別</th> <th>小城市</th> <th>多久市</th> <th>その他の地区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体</td> <td>279</td> <td>155</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>重症心身</td> <td>46</td> <td>22</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>知的</td> <td>814</td> <td>367</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>精神</td> <td>819</td> <td>282</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>発達</td> <td>316</td> <td>34</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>高次脳機能</td> <td>66</td> <td>51</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>48</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>対象障がい別の相談受付で、知的障がいの方の相談が一番多く、小城市814件 多久市367件その他の地区13件で計1, 194件、次に多いのが精神障がいの方の相談で計1, 103件。前年度と比較し、知的障がいの方の相談は182件増加、精神障がいの方の相談は138件増加がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待相談対応件数 1件【H29年度 2件】 ・障害者支援区分認定調査 61件(小城41件 多久20件)【H29年度 77件】 			障がい種別	小城市	多久市	その他の地区	身体	279	155	0	重症心身	46	22	0	知的	814	367	13	精神	819	282	13	発達	316	34	0	高次脳機能	66	51	0	その他	48	4	0
障がい種別	小城市	多久市	その他の地区																																
身体	279	155	0																																
重症心身	46	22	0																																
知的	814	367	13																																
精神	819	282	13																																
発達	316	34	0																																
高次脳機能	66	51	0																																
その他	48	4	0																																

	<p>(2) 地域生活支援拠点事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点事業リーフレット作成 ・地域生活支援拠点コーディネーター業務として常時の連絡体制の確保 ・短期入所事前登録調査票の作成や保管(小城市15件・多久市2件) ・事業所対象とした、人材育成のための研修会実施(38名参加) ・小城・多久圏域内実行委員と共に地域資源マップ作成 <p>(3) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス等利用計画作成 195件(小城138件 多久57件)【H29年度180件】 ・モニタリング 266件(小城192件 多久74件)【H29年度292件】 <p>(4) 研修会などへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県相談支援事業連絡会 (年4回) ・九州地区障がい者相談支援事業合同研修会 ・意思決定と虐待防止に関する研修会 ・中部圏域事例検討会(月1回) ・視覚障害者支援ネットワーク(2ヶ月1回) ・小城・多久障害者総合支援協議会(実務者会議 年7回:小城市・多久市と共に研修内容を企画し、地域の体制づくり・人材育成を実施) <p>「行動障害のある人の暮らしを支えるために」 「聴覚・視覚障害について」</p> <p>(5) 講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県相談支援従事者初任者研修 (演習講師) ・佐賀県地域生活定着支援センター普及・啓発セミナー(事例発表) ・精神障害者地域移行連絡会 (精神障害者支援における連携状況)
<p>特記事項</p>	<p>障害者相談支援センターの職員について平成30年度までは5名の正職員と1名の嘱託職員だったが、相談体制の充実を図るため、平成31年4月より6名の正職員を配置し対応していく。</p> <p>平成30年度より小城・多久障害者相談支援センターにおいて地域生活支援コーディネーター業務を受託、平成31年度も常時の相談体制を継続していく。また実務者会議においては参加者からの要望が多かった精神障がい者支援等についてテーマにあげ、小城・多久圏域の人材育成のための研修会を小城市・多久市と共に行っていく。</p>

平成30年度 事業報告

事業名	生活困窮者自立相談支援事業 (生活自立支援センター)	担当者	小城市生活自立支援センター 原・永淵・森																																
期 日	通年																																		
設置場所	小城保健福祉センター「桜楽館」内																																		
担当地区	小城市内全域																																		
事業内容	<p>平成29年度から小城市より受託し、経済的困窮や社会的孤立をしている者の相談に応じて必要な情報提供及び助言を行うとともに、継続的な支援が必要な対象者に対しては自立支援計画を作成し、生活困窮者の自立の促進を図るための支援を行う。(自立相談支援事業)。</p> <p>また、離職等により経済的に困窮し、住居を喪失した者(またはおそれのある者)に対し、家賃相当分の給付金を支給することにより、これらの者の住居および就労機会の確保に向けた支援を行う(住居確保給付金)。</p> <p>【新規相談件数】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>小城</th> <th>三日月</th> <th>牛津</th> <th>芦刈</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">41</td> </tr> </tbody> </table> <p>【相談受付件数(延べ件数)】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>小城</th> <th>三日月</th> <th>牛津</th> <th>芦刈</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">202</td> <td style="text-align: center;">94</td> <td style="text-align: center;">72</td> <td style="text-align: center;">49</td> <td style="text-align: center;">144</td> <td style="text-align: center;">561</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成27年度から支援継続者への相談含む。</p> <p>【住居確保給付金についての相談】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">相談件数</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">申請件数</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">給付決定</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>					小城	三日月	牛津	芦刈	その他	計	12	11	11	4	3	41	小城	三日月	牛津	芦刈	その他	計	202	94	72	49	144	561	相談件数	0	申請件数	0	給付決定	0
小城	三日月	牛津	芦刈	その他	計																														
12	11	11	4	3	41																														
小城	三日月	牛津	芦刈	その他	計																														
202	94	72	49	144	561																														
相談件数	0																																		
申請件数	0																																		
給付決定	0																																		
特記事項 (反省・課題)	<p>行政の各関係部署へ生活自立支援センターの周知や相談窓口を一本化したことで支援を迅速に行うことが可能となり、社協内でも生活福祉資金貸付事業、介護保険事業、障がい者支援の部門などと連携して柔軟な支援を行うことが出来た。</p> <p>生活困窮者の自立支援では相談者の状況に応じた支援が必要であり、本人の状況に合わせて生活困窮者が孤立から脱却するための「居場所」や「役割」の確保が必要であり、地域の社会福祉法人・事業所等への就労体験・中間的就労の受け入れ等の働きかけなど、新たな資源の開発が必要である。</p> <p>8050問題の引きこもりの支援については、地域や担当部署からの相談、情報提供があっても本人との面談に至ることが出来ないケースも多く、今後は関係機関とのネットワークの強化を進め、引きこもり当事者が相談してみようと思えるような体制づくりを行って行く必要がある。</p>																																		

佐賀中部広域連合 受託事業

(43 P ~ 46 P)

平成 30 年度 事業報告

事業名	小城市南部地域包括 支援センター事業 (おたっしゃ本舗小城南)	担当者	地域生活支援課 野中・鳥羽・井上・前田・北村・佐藤・中村												
期 日	通 年														
設置場所	芦刈保健福祉センター「ひまわり」内														
担当地区	小城市南部地区 (牛津町 ・ 芦刈町)														
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 地域における見守り・支えあい体制と外出支援の充実														
事業内容	<p>包括的支援事業</p> <p>1、総合相談業務</p> <p style="margin-left: 20px;">目 的</p> <p style="margin-left: 40px;">地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続して いくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域にお ける適切なサービス、関係機関および制度の利用につなげる等の支援を行 う。</p> <p style="margin-left: 20px;">【活動目標】</p> <p style="margin-left: 40px;">地域でのワンストップサービスの拠点であることを意識し、相談内容に応 じ、各機関と連携を図り、相談拠点となる。</p> <p>(1)相談支援業務</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">相 談 内 容</th> <th style="width: 15%;">H 3 0</th> <th style="width: 15%;">H 2 9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険その他の保健福祉サービスに関すること</td> <td style="text-align: center;">8 5 5 件</td> <td style="text-align: center;">6 1 3 件</td> </tr> <tr> <td>権利擁護に関すること(高齢者虐待等含む)</td> <td style="text-align: center;">8 2 件</td> <td style="text-align: center;">2 5 件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">9 3 7 件</td> <td style="text-align: center;">6 3 8 件</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">・広報:地域包括支援センターの活動や連絡先について周知を図るため、小城 市報掲載毎月1回、社協だより“絆”掲載年6回実施</p> <p>(2)高齢者見守りキーホルダー事業</p> <p style="margin-left: 20px;">内 容</p> <p style="margin-left: 40px;">小城南部地区在住(牛津町・芦刈町)の高齢者を対象にカナミックシステム で個人情報を管理し、急変時や認知症による徘徊時に関係機関(市役所・警 察・消防・広域連合)と迅速な情報共有。</p> <p style="margin-left: 20px;">・広報:高齢者見守りキーホルダー事業について団体などに対し出前講座等に実施</p> <p style="margin-left: 40px;">H29 登録者数 計 92人 内新規登録は20人増 死亡・転出で5人減</p> <p style="margin-left: 40px;">H30 登録者数 計104人 内新規登録は12人増</p>			相 談 内 容	H 3 0	H 2 9	介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	8 5 5 件	6 1 3 件	権利擁護に関すること(高齢者虐待等含む)	8 2 件	2 5 件	計	9 3 7 件	6 3 8 件
相 談 内 容	H 3 0	H 2 9													
介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	8 5 5 件	6 1 3 件													
権利擁護に関すること(高齢者虐待等含む)	8 2 件	2 5 件													
計	9 3 7 件	6 3 8 件													

事業内容

2. 権利擁護業務

目的

権利侵害を受けている、または受ける可能性が高いと考えられる高齢者が尊厳のある生活を行うことができるよう、権利侵害の予防や対応を専門的に行う。

【活動目標】

虐待の主体责任である市と連携を行い、権利侵害の予防や対応支援を行っていく。

3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

目的

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントを介護支援専門員が実践するための地域の基盤を整えるとともに、個々の介護支援専門員へのサポートを行う。

【活動目標】

多様な課題を抱える高齢者、家族が多くなっている現在、高齢者、家族自身の努力とともに、課題に合わせたサービスを包括的・継続的に支援していく。

(1) おたっしゃ本舗小城南地域ケア会議の開催

目的

高齢者個人に対する支援の充実とそれを支える社会基盤の整備が同時に図られるため、地域の特性を踏まえた地域包括ケアシステムの実現。

【小城市南部地域ケア会議】

・奇数月の第4木曜日開催 年間6回開催 地域ケア会議委員15人参加

参加者延べ人数 106人(H29 6回開催 92人参加)

【小城市南部サービスネットワーク部会:通称 ハピネット部会】

・年間4回開催 参加者延べ人数 256人参加(H29 4回開催 206人参加)

【小城市南部個別ケア会議】

・不定期開催 年間3回開催 参加者延べ数 50人

(H29 7回開催 90人参加)

【小城市介護予防のための地域ケア個別会議:通称 生き生きプラン】

・年間9回開催 参加者延べ人数225人

(2) 小城市在宅医療・介護連携推進協議会との連携

・小城市在宅医療・介護連携推進協議会の啓発・広報部会、研修部会、情報システム部会の委員として参加

・市民公開講座実施協力、企画、広報・スタッフとして参加

(3) 民生委員・児童委員連絡協議会定例会への参加

・牛津町定例会と芦刈町定例会へ毎月参加し、情報共有や相談支援

事業内容

4. 介護予防ケアマネジメント業務

目的

基本チェックリスト該当者に対して、介護予防および日常生活支援を目的として、その心身の状況等に応じて、対象者自らの選択に基づき、訪問型サービス、通所型サービス、その他の生活支援サービス等適切な事業が包括的・効率的に行う。

5. 生活支援コーディネーター業務

目的

市町村が定める活動区域ごとに、関係者のネットワークや既存の取り組み・組織等活用しながら、コーディネート業務を実施することより、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みを推進。

【活動目標】

高齢者の介護予防・生活支援の体制整備の構築に向けて、地域住民との意見交換や高齢者のニーズ調査を通して、資源の把握、整理、開発に取り組む。

(1) 協議体での活動

- ・第1層協議体 年2回開催
- ・第2層協議体 年2回開催

(2) 地域づくりの啓発活動

- ・市民公開講座 年1回
- ・勉強会 年1回

(3) 地域資源の把握、取組み調査

- ・視察研修 年2回
- ・モデル地区アンケート 1ヶ所

6. 認知症地域支援業務

目的

認知症の人とその家族の支援体制の構築および認知症ケアの向上を図る取組み推進。

【活動目標】

認知症の方の早期発見、早期対応のために、多職種連携し、ネットワーク構築強化に取り組む。地域の中で見守り、認知症の方が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくり。

(1) 医療、介護サービス、地域との有機的な連携の推進

(認知症ケアパス作成打ち合わせ 年6回)

(2) 認知症資源マップ作成

(3) 認知症本人、家族の居場所づくりの推進

(カフェ、サロンの啓発 随時 地域型認知症サロン 1ヶ所開催)

指定介護予防支援事業

指定介護予防支援実績

	H30年	H29年
介護予防給付件数 (事業委託分を含む)	2,378件	2,465件
要介護認定調査委託	38件	99件
住宅改修支援	11件	18件

<p>H31年 事業内容 (目標)</p>	<p>総合相談支援業務 (目標) 地域でのワンストップサービス拠点であることを意識し、相談内容に応じ、各関係機関との連携を図り、継続的相談拠点となる。</p> <p>権利擁護業務 (目標) 高齢者の尊厳を守るために虐待の責任主体である市と連携を行い、権利の侵害の予防や対応支援を行っていく。</p> <p>包括的・継続的支援業務 (目標) 包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備の実践。 介護予防ケアマネジメント業務、指定介護予防支援業務 (目標) 介護保険制度の基本理念である「尊厳の保持」・「自立支援」を意識し、高齢者の主体的な取り組みを促し、介護予防、介護予防ケアマネジメントを行う。</p> <p>生活支援コーディネーター業務 (目標) 高齢者の介護予防・生活支援体制構築に向け、住民、関係機関との連携を図りサポート体制の基盤開発、整備に取り組む。</p> <p>認知症地域支援業務 (目標) 認知症の早期発見、早期対応に向け多職種連携を行うとともに、住み慣れた地域で安心して生活できるように、認知症の方とその家族の意思を尊重した医療、介護サービス、地域資源のつなぎ支援に取り組む。</p>
-------------------------------	--

介護保険事業

(47 P)

平成30年度 事業報告

事業名	居宅介護支援事業		
所在地	小城市芦刈町三王崎1522番地（芦刈保健福祉センター ひまわり）		
対象者	介護保険 要介護認定者		
事業の種類	居宅介護支援	担当者	地域生活支援課 平野、大曲、甲斐
営業時間	月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時15分 但し、国民の祝日及び12月29日から1月3日までを除く		
運営方針	利用者・家族の意向を尊重し、中立公正な自立支援		
職員体制	管理者1人(兼務)、介護支援専門員3人(内2人主任介護支援専門員)		
実施地域	小城市内(原則)		
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 在宅医療・介護の連携と生活支援の充実		
実施内容	<p>1. 方針</p> <p>①常に利用者の立場になり、利用者が住み慣れた環境の中で、自分らしく、尊厳ある生活ができるように、自立への支援に努める。</p> <p>②利用者・家族の意向や心身の状態を考慮し、保険者・地域包括支援センター・医療機関・サービス事業所等とも連携を図り、支援する。</p> <p>2. 内容</p> <p>・相談援助、ケアプラン作成、サービス調整、更新認定調査等</p> <p>3. 利用者</p> <p>・利用者： 96人（平成29年度 100人）</p> <p>・契約者： 102人（平成29年度 110人）</p> <p>4. 実績</p> <p>① 居宅介護支援 年間 延1,158人(29年度 延べ1,147人) <介護度別>介護1 延631人 介護2 延179人 介護3 延208人 介護4 延70人 介護5 延70人</p> <p>② 介護認定調査 年間 25件（29年度 36件）</p> <p>5. 介護支援の流れ</p> <p>①介護申請→認定調査→介護認定→居宅介護支援の契約</p> <p>②利用者や家族に意向確認→ケアプラン作成→サービス調整→サービス担当者会議→サービス利用開始→自宅に定期訪問→モニタリング(評価)・来月の利用票配布(利用確認)→介護請求</p> <p>③ 住宅改修の支援、福祉用具の購入支援、更新認定調査、相談援助等</p> <p>6. 介護支援専門員の研修に参加、個別ケア会議への参加(月1回) 小城市南部サービスネットワーク部会への参加(2ヶ月に1回)</p>		
特記事項 反省・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の医療機関、民生委員、サービス事業者、包括支援センター等と連携を取り、地域住民の方や介護認定の方への支援の共有、検討を実施した。今後も地域の課題に着眼し、地域に根づいた総合的支援を行う。 ・ サービスネットワーク部会や個別ケア会議に参加し、サービス事業者、医療機関等と情報交換・共有を行い、支援援助のスキルアップ、多職種職員との交流を深めた。今後も会議や研修等に参加し職員の資質向上に努める。 		